

平成29年度

事業計画書

自 平成29年4月 1日
至 平成30年3月31日

公益財団法人 東大阪市文化振興協会

公益財団法人 東大阪市文化振興協会
平成29年度事業計画

平成29年度公益財団法人東大阪市文化振興協会の事業計画は、次に定めるとおりとする。

1. 公益目的事業

地域文化芸術の振興並びに児童文化の育成を図る事業

市の文化施設を活かした様々な事業の企画及び実施により、市民が文化芸術等に対する理解と親しみを深めていただき、合わせて事業に積極的に参加できる環境づくりの推進を図り、市民の文化芸術スポーツ活動をより活発化させることで、潤いのある豊かな地域社会の実現を図ることを目的とします。

事業内容

(1) 文化芸術の振興を図るための催し物、講座及び展示等の実施に関する事業

東大阪市民美術センター

市民に親しまれる文化振興の活動拠点として、内外の優れた芸術作品を紹介する特別展示の開催や、市内の文化団体や各種グループの文化活動の成果・作品発表する場として、あるいは茶室を利用してお茶会など広く一般に開放し、また市民の創作活動のてがかりを提供する各種講座や美術講演会の開講など、市民の文化芸術の推進を図ります。

◇主な事業

① 特別展示

- 「蓄音機の音と形—音楽再生のはじまり—」(仮称) (8月8日～9月3日 予定)

19世紀末から20世紀前半にかけて音楽再生の道具として発展してきた様々な蓄音機を通して、歴史を辿る。レコードもまた、その変遷を見ていくとともに、当時のレコードを当時の蓄音機で再生して聴く機会を設けます。

- 「星野道夫の旅」(平成30年2月 予定)

アラスカの自然と動物をこよなく愛した写真家星野道夫氏の生涯、人となり、自然写真家という仕事を氏のこぼ、愛用品、映像などを通して紹介します。

② 特別展記念催事

- 「蓄音機コンサート」(開催期間中)

講師 市民美術センター学芸部長 (予定)

- 「星野道夫の旅」記念講演会（開催期間中 予定）
講師 星野道夫事務所代表 星野直子氏
- ③ 企画展
 - 出張美術展
市民美術センターの工事に伴う臨時休館のため、大阪府 20 世紀美術コレクションを借用して、本庁舎 1 階多目的ホールで開催します。また、大阪府の担当学芸員による列品解説も開催予定です。
 - ・「田中一光 デザインポスター」展（5 月 8 日～19 日）
 - ・「花博 写真 日本」展（6 月 12 日～23 日）
 - ・「三尾公三 フォーカス原画」展（7 月 17 日～28 日）
 - 第 3 回 子どもラグビー絵画公募展（12 月中旬以降）
2019 年のラグビーワールドカップ開催推進活動を広めるとともに、「ラグビーのまち東大阪」を担う子供たちに、ラグビーをもっと知っていただき、関心をもつていただくための絵画を公募し展示します。
 - 第 17 回 そうさく展（11 月下旬～12 月初旬 予定）
過去に「創作講座」を受講し、活動を続けておられる修了生を対象にした作品展。
- ④ 若手アーティスト支援事業（公募の予定）（11 月下旬～12 月初旬 予定）
- ⑤ クリスマス☆ナイトミュージアム（12 月 9 日）
文化芸術にふれる機会を提供するため、市民美術センターを夜間も開館しライトアップするなど、いつもと異なる市民美術センターを演出します。
- ⑥ ひるさがりロビーコンサート（随時開催予定）
ピアノ・ヴァイオリン・フルート他の演奏、コーラス等。
- ⑦ 創作講座
 - 57 期「はじめてのデッサン教室」「はじめての水彩画教室」（5 月～7 月）
定員：1 講座 10～12 人 講座：各 8～9 回
（空調工事に伴う臨時休館のため、ドリーム 21 で開講）
 - 58 期「親子油絵教室」「はじめての水彩画教室」（8 月～10 月）
定員：1 講座 10～12 人 講座：各 9～10 回
 - 59 期「はじめての油絵教室」「はじめての鉛筆デッサン教室」（30 年 1 月～3 月）
定員：1 講座 10～12 人 講座：各 9～10 回
- ⑧ 夢をかたちに展（8 月・11 月・30 年 3 月）
57 期～59 期の創作講座修了後の受講生作品発表展です。
- ⑨ ボランティア活動
庭園美化、特別展・企画展の監視、研修会、ボランティア総会など。

文化振興協会本部が行う事業

◇主な事業

- ① 東大阪狂言会
- ② オーケストラコンサート「関西フィルハーモニー管弦楽団」

(2) 科学、文化教室、演劇、演奏会及びスポーツ活動等を通じて、児童文化の育成を図る事業

東大阪市立児童文化スポーツセンター

子供たちが楽しみながら科学・文化・スポーツについて知識や技能を身につけるとともに、自発的に参加・体験、相互交流する中で、学習意欲の向上、健全な人間関係が構築されるなど、より広い視野で育ち豊かな感性を育めるような各種教室・事業を展開します。

◇主な事業

① プラネタリウム

「通年：平日4回、日祝5回投影」

季節ごとにテーマを変え、子どもたちが宇宙や星に関心をもてるような番組や学校園等団体向けの各学年に応じた学習番組を企画し投影します。

② 常設（科学）展示室

「通年展示」

宇宙と人間を基本テーマとし、宇宙・地球・人間・科学のふしぎについて展示物を通じて子どもたちが楽しく体験しながら学習できるコーナーです。

③ スポーツホール

「通年：1日5回入れ替え制」

子どもが、安全に思い切って体を動かせるよう床全面にソフトマットを敷き、大型遊具や一輪車等、子どもたちがいろいろな遊具を使って「遊び」を創り出し、飛び跳ねたり、転がったり、運動の楽しさと喜びを味わう運動広場で、安全面・衛生面でも質の高いサービスを提供しています。

④ 多目的文化ホール

団体または個人に条例に基づいて、施設を利用していただきます。

日頃、学校園では鑑賞する機会の少ない優れた児童演劇や音楽・映画の鑑賞、活動成果の発表、文化活動を続けている子どもたちの発表の場を提供します。

また、様々な文化に触れることで感性豊かな人間の育成を図り、表現力を高めます。

⑤ 事業等

○ 「星空（天文）教室」

プラネタリウムでの星空観察を中心に、天体観測実習なども交えた教室です。

○ 「星をみる会」

夜に屋外にて天体望遠鏡を使って天体観望をする会を毎月開催します。

○ 「星空たんけん隊」

夏の五條市「星の国」、冬の志摩市「アクアヴィラ」に宿泊しての天体観察会です。

○ 「生物教室」

野外観察や顕微鏡を使った、実習などを交えた継続的な教室です。

○ 「ものづくり教室」

親子陶芸、七夕かざりなど、手作りの楽しさを体験してもらう教室です。

○ 「ハンドベル教室」

ハンドベルの演奏習得、合奏の楽しさを味わう教室です。

○ 「バイオリン教室」

バイオリンの演奏習得、合奏の楽しさを味わう教室です。

○ 「書道教室」

楽しみながら習字を経験し、技術を高める教室でお正月には書初め大会も実施します。

○ 「児童文化スポーツセンター児童劇団（フラップトリップ）」

小学生から高校生までの劇団です。

○ 「児童文化スポーツセンター管弦楽団（チェルボ）」

社会人の管弦楽団。中高生の研究生募集。「秋の演奏会」「春の音楽会」を開催します。

○ 「バレエ教室」

クラシックバレエを楽しみながら経験し、技術を高める教室です。

○ 「幼児教室（わいわいキッズ）」

就学前の子どもと保護者が楽しみながら心と体の触れ合う教室です。

○ 「子どもの日ゆめ劇場」

日ごろ触れる機会の少ない児童演劇・音楽会の公演です。

○ 「子ども映画サロン」

年3回程度、子ども向けの楽しい映画の鑑賞会です。

○ 「子ども文化劇場」

日ごろ触れる機会の少ない児童演劇・人形劇等の公演です。

○ 「演劇団体鑑賞会」

学校園での開催がしにくくなった児童演劇・人形劇などの鑑賞会です。

- 「プラネタリウムドームコンサート」
プラネタリウムドームでのコンサートを開催します。
 - 「ロビーイベント」
1階ロビーでの個展、コンサート、お茶会等を開催します。
 - 「夏休み工作教室」
毎年テーマを決めて、夏休み期間中に実施します。
 - 「夏休み一輪車教室」
一輪車の正しい乗り方など、基礎から楽しみながら技術を高める教室です。
 - 「夏休み逆上がり教室」
基礎から楽しみながら逆上がりの技術を高め克服する教室です。
 - 「夏休み特別展」
毎年テーマを決めて、夏休み期間中に実施します。
 - 「子どもお祭り広場」
日本の文化や風俗を体験できて家族で楽しめる「ふれあいの場」です。
 - 「幼虫飼育教室」
昆虫を幼虫から飼育する技術を習得する教室です。
 - 「クリスマス発表会」
ハンドベル、バイオリン教室に参加した子ども達の発表会です。
 - 「教室発表会」
各種教室に参加した子どもたちの集大成としての発表会です。
 - 「子ども文化祭」
文化活動の取組みをしている子どもたちのグループに、発表の場を提供します。
 - 「世界のクワガタ・カブトムシが大集合」
世界のクワガタ・カブトムシの展示及び頒布します。
 - 「模擬店イベント」
恒常的な集客力の向上と利用者及び地域住民へのサービスの向上を目指します。
 - ドリーム21 伝統文化事業
獅子舞や上方落語などの伝統的な文化にふれる場を提供します。
- ⑥ 連携
- 「市や他施設との連携」
市や民間企業、他施設と連携し、様々な共催事業を企画し実施します。
 - 「地域との連携」
英田中学校区地域教育協議会との連携の推進、また地元商店街との連携を図ります。
 - 「子供会との連携」
東大阪市子供会育成連絡協議会との連携の推進を行ないます。

- 「消費生活体験教室」
工作体験を通じて、自然エネルギーや地球環境問題について学びます。
- 「大学との連携」
近畿大学、大阪樟蔭女子大学、大阪商業大学、大阪芸術大学との連携を図ります。
- ⑦ その他
 - 「研修」
市や教育センターと協同で、館内外において職員や教員等の研修を実施します。
 - 「職業体験学習等の受け入れ」
学校園からの依頼により職業体験・仕事の聞き取り学習等の受け入れを行いません。
 - 「プラネタリウム番組制作」
東大阪の偉人を題材に、オリジナルの番組を制作します。

(3) 郷土の文化遺産に関する資料収集と保存及び公開普及を図る事業

東大阪市立郷土博物館

東大阪地域の歴史・文化財の調査・研究並びに考古・民俗その他の各種資料の収集・保存・管理を行うとともに、各種資料を基に展示事業・講座を開催し、四季に応じた昔の暮らしをテーマとした体験学習や春・秋の史跡ハイキング等の企画を通じて、市民が郷土文化や歴史に関する学習を深め理解し、郷土を愛する豊かな心を育めるよう普及啓発事業を図ります。

◇主な事業

① 展示

- 常設展示「かわちのくに」展 (29年3月16日～29年9月3日・30年3月15日～30年9月2日)

これまでの発掘調査や市民からの寄贈資料を通して、市内の人々が暮らし始めた約2万年前から昭和時代までの郷土の歩みを時代順に振り返ります。通史的内容であることから、小学6年生の社会科や総合学習との連携を図ります。

○テーマ展示

- ・「武士のみた東大阪の風景―鎌倉・室町時代の遺跡」展 (29年3月16日～29年9月3日)

本年度は、約800～400年前の武士が活躍した鎌倉・室町時代の東大阪の様子を振り返ります。

・「ものづくりのまち—米づくり—」展（30年3月15日～30年9月2日）
常設展示と並行して市域をとりあげた展示。東大阪での米づくりの様子を紹介
します。

○コーナー展示「電気製品のはじまり」展（6月6日～9月3日）
博物館に収蔵されている資料の中から、昭和の電気製品と関連資料の展示をし
ます。

○特別展示「東大阪アニマルランド」展（9月14日～12月3日）
平成29年度は、動物にかかわる資料を通して郷土の歴史についての理解を深めて
いただきます。

○企画展示「昭和の東大阪のまちかど」展（12月14日～30年3月4日）
昭和時代の東大阪の暮らしを市民から寄贈された民具類を通して、当時の人々の
暮らしを振り返ります。小学校3年生の学習内容に沿った展示で、小学校と連携を
図ります。また、実物の民具に触れ、使用体験できるコーナーを併設します。

② 体験学習等

○綿くり体験と種の持ち帰り（4月16日）
綿は、江戸時代に河内地域で盛んに栽培され、「河内木綿」として全国的に知られ
る製品となっていました。秋に収穫した実綿から綿くり機によって種を取り出す
とともに、その種をそれぞれ持ち帰り栽培してもらおう。

○春の体験イベント「竹のコースターとオリジナル葉書をつくろう！」（4月29日）
博物館周辺にある自然素材を使ってコースターやオリジナル葉書作りに挑戦して
いただきます。

○「いなだもも」の苗木無料配布（5月3日）
いなだももは、江戸時代に河内地域で盛んに栽培され、全国的に知られていま
した。いなだももの苗木の無料配布を通して、郷土の歴史について理解を深めてい
た
だ
き
ま
す。

○「カブトムシ」の無料配布（8月3日）
博物館周辺の自然と歴史にふれ、郷土への理解を深めていただきます。入館者に
1人1匹のカブトムシを無料配布します。

○夏休み親子手作り教室「土と貝の装身具づくり」（7月17日）
粘土と貝殻を使って古代人の装身具を作り、身に着けてみます。作品の一部は、
夏休み期間中ロビーで展示します。

○夏休み親子体験イベント「卑弥呼に変身」（8月6日）
冠や剣、石の勾玉づくりに挑戦し、卑弥呼や古代人の衣装に着替えて変身して
み
ま
す。

○秋の体験イベント「秋の自然素材を使った親子でのものづくり」(11月19日)
博物館周辺にある秋の自然素材を使って、動物やクリスマスツリー・リースづくりをします。

○年末の体験イベント「干支の置物とミニ門松づくり」(12月23日)
秋に取れた稲わら、松ぼっくりや粘土を使って、干支の置物とミニ門松をつくり、昔の年末行事の一端にふれていただきます。

○冬の体験イベント「わらぞうりをつくろう」(1月14日、1月21日)
わらぞうりづくりを通して、郷土の昔の暮らしを知っていただきます。

③ 史跡ハイキングなど

○古墳の定期見学会 ～出雲井古墳群～ (4月30日)
博物館周辺にある古墳の定期見学会で、出雲井古墳群を訪ねたのちに博物館で出土品を見学します。

○春の史跡ハイキング「石造物探訪1―石切から瓢箪山―」(5月21日)
石切地区から瓢箪山地区にかけての石造物を訪ねます。
参加者に記念品(綿の種)を進呈。「国際博物館の日」の参加のため入館無料。

○古墳の定期見学会 ～五里山・六万寺古墳群～ (10月15日)
博物館周辺にある古墳の定期見学会で、五里山・六万寺古墳群を訪ねたのちに博物館で特別展を見学します。

○秋の史跡ハイキング「河内六寺をめぐる」(10月22日)
柏原市域の東高野街道沿いにある奈良時代の寺跡を訪ねます。

④ 講演会・講座など

○特別展示に伴う講演会 (11月12日 予定)
市民を対象に、特別展示の内容に沿った講演を予定しています。聴講したうえで展示資料を観覧します。

なお、講師未定のため講演日の変更もあります。

11月11、12日は「関西文化の日」の参加のため入館無料。

○出前講座 「歴史講演会」

郷土博物館学芸員が地域に出向いて講演をします。

・平成29年6月1日 (主催：東大阪市社会福祉協議会)

演題：「東大阪の土馬」

講師：郷土博物館学芸員 金村 浩一

・平成29年6月29日 (主催：東大阪市社会福祉協議会)

[午前] 演題：「東大阪居住の渡来系古代豪族」

講師：郷土博物館学芸員 中西 克宏

[午後] 演題：「布施の菅笠づくり」

講師：郷土博物館学芸員 山中 信人

- ・平成 29 年 12 月 26 日 （主催：日下リージョンセンター企画運営委員会）
演題：「入門 日下と河内馬飼」
講師：郷土博物館学芸員 中西 克宏
- ・平成 30 年 2 月 24 日 （主催：四条リージョンセンター企画運営委員会）
演題：「池島・福万寺遺跡における土地利用の変遷」
講師：郷土博物館学芸員 山中 信人
- ・平成 30 年 2 月 27 日 （主催：日下リージョンセンター企画運営委員会）
演題：「旧枚岡市域の廃寺」
講師：郷土博物館学芸員 山中 信人
- ・平成 30 年 3 月 27 日 （主催：日下リージョンセンター企画運営委員会）
演題：「遺跡でみつかるとまじないの道具」
講師：郷土博物館学芸員 金村 浩一

⑤ その他

○博物館実習生の受け入れ

東大阪市周辺にある大学からの依頼に基づき、学芸員資格取得を志す学生に対して実習の機会を提供し、将来的な博物館活動の発展を図ります。

○職業体験、仕事の聞き取り学習の受け入れ

小・中学校の「総合的な学習の取り組み」に連携して、市内各学校からの依頼により実施します。

○博物館収蔵資料の閲覧・貸し出し業務

○博物館収蔵資料の保存・管理

※平成 23 年度以降新規に収集した博物館資料等

博物館寄託の門脇家文書に登録番号を付し、管理（登録）台帳の作成

○団体見学时における資料解説

○出前教室等の講演依頼による講師派遣等の対応

○教育委員会（文化財課）が主催する、資料展示会等への協力等

鴻池新田会所

会所の歴史の調査・研究並びに民具や会所に関する資料収集・保存・管理を行うとともに、会所の建物群、庭園の公開並びに新田開発に関する資料と民具の展示等に加えて、会所を活かしたさまざまな事業（座敷や庭園での茶会の開催、歴史に関する講習会、コンサート、体験学習、地域との連携等）を通じて、市民が郷土文化や歴史に関する学習を深め広く理解してもらえるよう普及啓発事業を図ります。

◇主な事業

① 展示

○オープンエアミュージアム事業

国史跡重要文化財に指定されている建造物や民具を一般公開。会所の役割や歴史的背景の学習の場を提供します。

○コーナー展示

鴻池新田会所の「四季のグッズ」展（6月17日～7月17日）

会所に遺された江戸～昭和初期の民具を展示します。

○鴻池家寄贈民具展「むかしの道具いろいろ」（30年1月中旬より2月末）

火鉢、ランプ、提灯、かご、人力車、ラジオ、蓄音機、天秤ばかり等を展示します。

② 体験学習等

○木工の匠 「子どもゆめ基金〔申請予定〕対象事業」（7月22日）

カンナやノコギリ、小刀等を使う機会が少ない、現代の子どもたちと共にモノを作る工程を学び、工夫と作業でモノを完成させる喜びを体験します。

講師：川端 徹（家具職人）

○綿くり、綿うち、糸つむぎ 「子どもゆめ基金〔申請予定〕対象事業」（11月上旬）

会所で収穫した綿を使い、糸ができるまでの仕事を体験します。

○迎春～日本の伝統行事の体験～（12月中旬）

・しめ縄づくり 「子どもゆめ基金〔申請予定〕対象事業」

むかし農家の副業だったしめ縄作りの講習をします。

・もちつき 「子どもゆめ基金〔申請予定〕対象事業」

会所のかまどで餅米を蒸し、杵・石臼を使って昔ながらの餅つきをします。

③ 史跡ハイキング・講演会・講座

○史跡ハイキング①「古地図見て歩きシリーズ(6) 衣摺・柏田周辺」（4月22日）

○史跡ハイキング②「旧大和川をたどる(5)」（4月30日）

大和川付け替えで大変迷惑した大和川左岸の村々をたどり、付け替えの意味を考えます。

○歴史講座①「与謝野晶子と大和川」（5月14日）

講師：黒田伊彦氏（大和川市民ネットワーク会員）

○歴史講座②「大和川つけかえと盾津の井路について」（5月21日）

講師：河内晴彦氏（大和川市民ネットワーク会員）

○歴史講座③～⑥（9月中旬から4回）

○史跡ハイキング（10月下旬に2回）

④ 展示・公開に関する業務（ガラス乾板写真の調査、保存及び公開）

会所で収蔵するガラス乾板写真の調査ならびに保存措置を施し、デジタル化のうえ映像システムとして普及啓発ビデオコンテンツに追加します。

・データベース化、ビデオコンテンツとして映像化作業。

⑤ 歴史学習に対応した講座等に関する業務

○古文書講座

【入門編】 河内屋南新田・深野南新田の古文書をテキストに、くずし字解読の基礎を学びます。

4月25日～5月23日

全5回実施 定員：20名

【初級編】 江戸時代の刊本をテキストに、かな文字の解読を習得します。(入門編受講済みの方に限る)

5月30日～6月27日

全5回実施 定員：20名

【上級編】 博物館・文書館等への見学、文書整理の実務を習得します。

不定期(費用自己負担)

○鴻池家寄贈民具の整理

鴻池家寄贈民具のうち食器並びにそれに付随する民具の調査及び整理を実施し、展示への活用並びにデータベース化、収納場所の再編を実施します。

○近世史講座

今年は、東大阪市市制施行50周年を迎えるが、3市合併前の旧河内市においては市史が刊行されておらず、江戸時代の村の様子については不明な点が多くあります。

そこで今回は、旧河内市内の水走・吉原・箕輪・新庄村と三島新田を取上げ、江戸時代の村の暮らしについて考えます。

全6回実施 定員：20名

○田辺聖子と鴻池屋

田辺聖子の短編小説「おちよる舟」を題材に、遠く離れた御手洗町(現呉市)の歴史を振り返りながら、東大阪ゆかりの人物について考え直します。(9月中旬から下旬)

- ・大阪樟蔭女子大学内「田辺聖子文学館」の見学
- ・鴻池新田会所での講演会

⑥ 地域連携事業の拡充

○近隣自治会、住民との連携事業の拡充

周濠の清掃事業等、近隣自治会及び住民と共同事業を実施していますが、より連携を深め、会所への理解を深めていただくことを目的として連携事業を拡充します。

鴻池ジャズや落語会のように近隣住民が主催する行事について、場所の提供や職員による協力を行っていますが、近隣自治会等が実施する餅つき等の行事にも場所の提供や職員による協力を行っていきます。また、会所が催す各種の行事にも近隣自治会に参加を要請し、教育委員会の承認を得て招聘を行います。

- ・招聘を実施する自治会

鴻池元町自治会 鴻池本町自治会 鴻池新町自治会

○子どもたちやファミリー層への働きかけ

会所への入館者は、60才以上の高齢者や40才以上の壮年層が多数を占め、若年層やファミリー層の入館者が少なく、子どもたちも団体入館者を除けば少数であることから、まず、近隣の子どもたちを会所に来てもらう取り組みを実施します。

従来より実施している取り組み「もちつき」「しめ縄づくり」「綿くり、綿うち、糸つむぎ」のほか、27年度から子どもゆめ基金の支援を得て実施した「木工の匠」と題した箸づくりを恒常化し、夏休みを中心とした日程で実施するとともに、鴻池元町自治会、鴻池本町自治会、鴻池新町自治会の各子ども会に参加を呼びかけていきます。

⑦ その他

○河内木綿継承事業

江戸時代に河内地方の主要産物であった河内木綿を、会所敷地内で栽培収穫し、新田開発と木綿生産が密接な関係であったことを啓発し、種を無料配布します。

○野点

江戸時代を代表する地泉回遊式庭園でお茶を嗜んでいただきます。(5月3日)

お点前は、東大阪茶花道協会の皆さまです。

○蓄音機コンサート

鴻池家寄贈の1920年代の蓄音機にちなみ、SP盤で昔懐かしい音色を楽しむコンサートを開催します。(5月7日)

○鴻池ジャズストリート

歴史や新しい魅力の詰まった鴻池地域で、会所をメイン会場にジャズのライブ演奏会です。東大阪市ジャズストリート実行委員会主催の協賛事業

○鴻池寄席

出前高座「天満天神の会」による落語会です。(11月3日)

○コスプレフェスタ(4月29日・5月27日・6月11日)

コスプレ無料体験コーナー有ります。共催：COSJOY(コスジョイ)

○府下現存3会所との共同事業

安中会所、加賀屋会所とともに共同で実施する事業として、絵はがきの作成をします。(配布方法：スタンプラリー達成者に配布)

東大阪市立埋蔵文化財センター

市内の遺跡や古墳から出土した土器や石器などの調査・整理・保存・展示に加え、「古代の生活を体験しよう!!」をキャッチフレーズに自ら体験学習をする機能を有した施設であり、老若男女を問わずどなたでも気軽に「見て、触れて、そして作る」を目的としています。

また、歴史を学ぶ講演会や郷土博物館主催の土曜講座の開催など、市の文化財保護行政と連携協力を図りながら市民文化の向上に努めています。

◇主な事業

① 収蔵品展示

- 「B地域の大むかしの人々の暮らし」(4月1日～11月6日)

東大阪市の南東部の遺跡から出土したのから、大むかしの人々の暮らしを紹介いたします。

- 「大むかしのC・D地域の人々の暮らし」(仮題)(11月11日～30年11月14日)

※B・C・D地域とは、市の行政単位の地域をさします。

② センター内の部屋の借り受け

- 土曜講座「博物館の至宝」(視聴覚室) 郷土博物館主催

市民を対象に博物館学芸員による郷土の歴史を様々な観点から学ぶ学習会です。

今年度は「博物館の至宝」を統一テーマとして3回の講座に分けて紹介します。

9月16日 「客坊の十王像－東大阪の十王信仰の受容と広がり－」

9月23日 「水走遺跡の石鍋」

9月30日 「山畑古墳群の金銅装馬具－鐘形杏葉－」

- 古文書講座「中級編」(学習室) 鴻池新田会所主催

多種多様な古文書を読みこなします。(入門編受講済みの方に限る)

全22回×2コース実施 定員:各コース18名

③ 受け入れ図書等の登録業務

④ その他教育委員会主催事業等への協力

- 体験学習、歴史講演会、春休みや夏休みのイベント事業等

- 年中行事を題にした期間限定のオリジナル勾玉(滑石)づくり

(4) 文化芸術活動等の拠点となる施設の管理運営事業

市民美術センター

- ① 施設利用申し込みの受け付け、使用許可、使用許可の取り消し及び設備の許可
- ② 施設使用料等の徴収、使用料の減額及び免除並びに還付
- ③ 施設設備の維持管理業務
- ④ その他施設の管理に関すること

児童文化スポーツセンター

- ① 施設観覧申し込みの受け付け、使用申し込みの受け付け、使用許可、使用許可の取り消し及び設備の許可
- ② 使用料、観覧料の徴収及び使用料の還付
- ③ 施設設備の維持管理業務
- ④ その他施設の管理に関すること

文化財施設（鴻池新田会所、郷土博物館、埋蔵文化財センター）

- ① 鴻池新田会所への申請の市が行う受付、許可等の手続きの補助
- ② 郷土博物館の観覧及び閲覧や貸出の申請書の受理及び貸出業務
- ③ 埋蔵文化財センターの観覧及び閲覧や貸出の申請書の受理及び貸出業務
- ④ 鴻池新田会所の使用料及び観覧料、冊子代金の収納
- ⑤ 郷土博物館の観覧料及び閲覧料、冊子代金の収納
- ⑥ 埋蔵文化財センターの冊子代金の収納
- ⑦ 鴻池新田会所、郷土博物館、埋蔵文化財センターの施設設備の維持管理業務
- ⑧ 資料の収集保管及び貸し出し
- ⑨ 文化財に関する広報活動